

東京都立杉並工業高等学校 平成31年度学校経営計画

1 目指す学校

学校の教育目標「勤労と責任を重んじる誠実な人をつくる」、「個性を伸ばし、自主的にして協調性のある人をつくる」、「豊かな教養を備えた地球環境に配慮できる技術者をつくる」を達成するため、特色ある教育活動を展開し、確かな技術力と社会性を身に付け、自身が誇れるものを持つ生徒を育成する。さらに、資格取得、部活動、家庭や地域との連携などの取り組みについても、中学校や地域などに広く発信し、下記の工業高校を目指す。

(1) 工業技術を身に付けた心豊かな技術者を育成する工業高校

- ① 自ら課題を見付け、その解決に向けて主体的に取り組む生徒を育てる学校
- ② 基礎的・基本的な学力の定着を図り、学習への興味・関心を高める授業を行う学校
- ③ 人間としての在り方生き方を踏まえ、主体的に進路選択ができる生徒を育てる学校
- ④ 資格取得やコンテスト等に積極的に取り組み、知識・技能等を自ら高める生徒を育てる学校

(2) 家庭や地域から信頼され、地域や社会に貢献し、取り組みを社会に発信する工業高校

- ① 部活動等を通して、規範意識を身に付け、心身共に健康な生徒を育てる学校
- ② 保護者・地域と一体となって、一層開かれた学校づくりを推進する学校
- ③ 生徒間、生徒と教員、生徒と地域の小・中学校及び地域などの「心の触れ合い」を重視し、心豊かな生徒を育てる学校
- ④ 国際人として日本を愛し、外国の国々を尊重できる人間を育成するとともに、常にグローバルな視点に基づく取組を社会に発信する学校

2 中期的な目標とその達成に向けた方策

(1) 中期的な目標

広い視野でものごとを考え、社会に貢献できるものづくり人材の育成を目指し、実践的な技術・技能を習得させることにより、生徒の能力の伸長と進路実現を図り、生徒や保護者にとって魅力的な学校づくりを推進する。

(2) 達成のための方策

- ① 社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を身に付けさせるために、キャリア教育を充実させる。また、ものづくり人材育成プログラム事業等を活用し、実践的な技術・技能の習得を図る。
- ② 基本的な生活習慣、公共のマナー等の規範意識を身に付けるために生活指導を徹底するとともに、教育相談と「心の触れ合い」を重視し、親身で粘り強い指導を行う。
- ③ 学校保健委員会やカウンセリング委員会等を活用し、心身の健康に関する取組を実施する。
- ④ 生徒にとって更に魅力ある学校となるために特色ある学校づくりを一層推進する。
- ⑤ 本校の特色の一つである部活動を通して人づくりを推進する。
- ⑥ 本校の特色やよさを中学校、地域に効果的に発信する、組織的なPR活動を行なう。

3 今年度における取組目標とその達成に向けた具体的方策

杉工スローガン「学ぶ 創る 考える 未来のスペシャリストを目指して！」

(1) 教育活動の目標と方策

ア 学習指導

- ① 都立専門高校技能スタンダードに基づいた組織的・効果的な学習指導を行い、専門的な技術・技能の確実に習得させるとともに、生徒にとって有用な資格・検定の取得を目指す取り組みを推進する。
- ② 現存の習熟度別授業や少人数授業等を充実させ、学力スタンダード等に基づき、基礎・基本の定着を重視し、進路希望に応じた、きめ細かな指導を徹底する。
- ③ 4年目となる学力向上研究校（校内寺子屋）事業をさらに充実させ、基礎学力の定着が十分でない生徒に対し、外部人材等を活用して、個々に応じた学び直し学習の支援態勢を強化する。
- ④ インターンシップや課題研究を通して、自ら考え、課題を解決する能力を高めるとともに、進路活動に必要な力やプレゼンテーション能力を養う。
- ⑤ 読書活動の取組を充実させ、自ら学ぶ態度や読書をする習慣を身に付けさせ、未読者率を減少させる。
- ⑥ ICT機器を授業に効果的に活用し、学習への興味・関心を高め、学力向上を図る。
- ⑦ ものづくり人材育成プログラム指定校として、外部人材等を活用した講演等の取組を実施し、工業3科の学習内容をより充実させる。

イ 生活指導

- ① 登校時やホームルーム、教科指導など、様々な場面で、時間を意識して行動すること、身だしなみや挨拶に関わる指導などを徹底し、礼儀や規律、規範に関わる意識を高める。
- ② 遅刻防止指導を充実させ、保護者との連携を図り、基本的な生活習慣の改善に向けて指導を行う。
- ③ 「いじめ防止基本方針」等に基づき、いじめや暴力は絶対にしない、許さない指導を徹底するとともに、学校いじめ対策委員会を定期的に開催し、いじめの未然防止に向けた取組や早期発見のための情報共有の工夫を図る。
- ④ 関係機関等との連携によるセーフティ教室を実施し、薬物乱用防止や交通安全などを扱い、非行防止の指導や犯罪の被害にあわないための指導を行う。また、SNS 指針を活用し携帯電話等のマナー指導なども徹底する。
- ⑤ 環境保全活動の一環として、校内美化の徹底とゴミの分別、リサイクル、節電の組織的な取組を充実させる。
- ⑥ スクールカウンセラーと連携した教育相談の充実、学校医等と連携した健康教育の推進、保健委員会の活動の活性化などを図り、自殺対策に資する教育の推進、発達障害等の特別な支援が必要な生徒の心の健康の増進や学ぶ意欲の向上を図る。

ウ 進路指導

- ① 就職希望者の就職内定率、進学希望者の進路決定率ともに100%を維持する。
- ② キャリア教育の全体計画に基づき、組織的・計画的にキャリア教育を推進する。就職希望者の進路活動に当たっては、ハローワークとの緊密な連携を図る。
- ③ インターンシップ、進路講演会、ガイダンス、杉工MF D（マイ・フューチャー・デザイン）の内容を工夫するとともに、資格取得や検定合格に向けた指導など、進路希望に応じた学習指導や進路指導を充実させ、生徒一人一人の進路希望の実現を支援する。
- ④ 社会人として求められるマナーを身に付けたり、コミュニケーション能力を高めたりするために、接遇指導を実施する。

エ 部活動・体力向上

- ① 重点配付された部活動振興予算を有効に活用するなどし、部活動の活性化を一層図り、スポーツや芸術・文化において個性や能力を伸長させるとともに、責任感や忍耐力、

社会性などを育む。

- ② 大会やコンクールへの参加を奨励するとともに、実績の向上を目指し、杉工への帰属意識や自信を高めさせる。
- ③ 部活動を通して、各種競技地域大会等を開催し、中学校・地域との交流を深めるとともに、本校の教育活動のよさを積極的に発信する。
- ④ 部活動にあたっては、安全指導を徹底し、重大事故ゼロを目指す。
- ⑤ 体力・運動能力向上の取組である「一校一取組」運動の展開に加え、体育祭、マラソン大会、スポーツ大会など体育的な行事を充実させ、生徒の体力・運動能力の向上を図る。

オ 特別活動

- ① 学校行事を充実させ、集団の一員としての自覚を深め、自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己を生かす能力を養う。
- ② 生徒会活動や学校行事を通して、よりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治的能力の育成を図るとともに、「中部フェスタ」を活用し共生社会に対する啓発推進を図り、公共の精神を養う。
- ③ 「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針に基づき、日本の伝統文化の理解や国際感覚を養う等、国際理解教育の充実を図る。
- ④ 行事や集会等における校歌斉唱、生徒による挨拶活動、地域への貢献や奉仕活動等など、本校の伝統的な取組を一層充実させ、生徒が誇りをもてる学校づくりを推進する。

カ 学校経営・組織体制

- ① 学校運営連絡協議会、学校評価委員会を十分機能させ、開かれた学校づくりを推進するとともに、社会の変化、生徒・保護者のニーズを踏まえた学校改善を図る。
- ② 広報活動や募集対策に積極的に取り組み、学校の教育活動について保護者や地域に積極的に情報を発信し、本校の魅力を伝え、目的意識や学ぶ意欲の高い生徒の確保に努める。また、文化・スポーツ等特別推薦等の実施で、入学者選抜方法について工夫・改善を図る。
- ③ 生徒指導委員会等を活用し、中途退学者のさらなる減少、家庭及びスクールカウンセラーと連携した教育相談体制の構築などを推進する。
- ④ 体罰の防止、法令等の遵守、サービスの厳正に期するとともに、保護者や地域住民との接遇マナーに心がけ、都民・地域から信頼される学校づくりを推進する。
- ⑤ 都立学校情報セキュリティ対策基準等を遵守し、個人情報の管理を徹底する。
- ⑥ 都立学校開放事業や地域と連携した活動に組み、地域とのパートナーシップを築く。
- ⑦ 防災体制を整備し、非常時に備えるとともに、関係機関や地域と連携して実践的な防災教育を推進する。また、各種防災訓練を充実させ、生徒の防災意識の向上を図るとともに、自助・共助のための実践的な知識・技能の習得を目指す。
- ⑧ ものづくりの面白さを子供たちに伝える活動など、地域の小・中学校との連携事業の内容を充実・改善し、地域社会に貢献し、信頼される学校づくりを推進する。
- ⑨ 学校 HP のリニューアル、杉工魅力 PR 動画「まなびゅ〜」に組み、これまで以上に広報活動について創意・工夫を重ね、募集対策等の一層の改善・充実を図り、組織的な活動を推進する。
- ⑩ 「学校における働き方改革プラン」(H30.2 都教委)に基づいた、ライフ・ワーク・バランス推進策として、各種会議等の終了 1 時間以内の厳守や計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を図る。

(2) 重点目標と方策

平成31年度は、下の項目について数値目標を掲げ、職員一丸となって達成に向けて取り組む。

	項 目	数 値 目 標
学習指導	授業力の向上	若手教員を中心とした授業力向上に向けた研究協議を9回以上 他教員の授業参観を年2回以上
	学力の向上	学力向上研究校事業を活用し、該当生徒の学力向上率60%以上
	成績優良者の増加	100人以上
	ものづくり人材育成プログラム事業の活用	工業3科講演会等1回以上
	技能スタンダードに基づく資格取得等の指導の充実	国家資格取得者数200名以上 認定資格取得者・検定合格者数300名以上
・生活指導 部活動	遅刻者数の減少	皆勤・精勤者を合算で150名以上
	部活動参加生徒の増加	参加生徒85%以上
	部活動の充実（試合等の実績）	前年度実績以上
	教育相談の充実	スクールカウンセラーとの連携による校内研修2回以上 学校いじめ対策委員会月2回以上
	規範意識の向上	暴力行為、いじめゼロ
進路指導	キャリア教育の充実	進路決定率100%（フリーター・ゼロ） インターンシップを2学年生徒全員が実施 企業や上級学校訪問を最低1回以上
	就職指導の充実	就職希望者の就職内定100% 初回の就職試験の合格率70%以上
	進学指導の充実	進学希望者の大学・専門学校進学100%
活動 特別	奉仕活動の充実	「人間と社会」に関わる奉仕体験活動3回以上
	地域連携の充実	地域連携に関わる体験活動3回以上
学校運営・組織体制	本校の魅力を伝え、入学希望者を増加させる活動の充実・ 学校HPのリニューアル、杉工魅力PR動画「まなびゅ〜」	学校説明会、見学会参加者数延べ600名以上
		全教員による中学校訪問数80校以上
		中学校への出前授業3回以上
		杉並区内小・中連協議会への参加1回以上
		推薦に基づく入学者選抜応募倍率1.5倍以上
		学力検査に基づく入学者選抜の応募倍率1.1倍以上
	学校HP年100回以上の更新、PR動画作成1回以上	
	ものづくりの面白さを子供たちに伝える活動の充実	ものづくり教室参加者数100名以上
家庭との連携、校内体制の充実	中途退学者数15名以下（転退学者を除く。） 体罰ゼロ	
組織的な取組の推進	学校運営連絡協議会の学校評価満足度100%	